

骨盤ケア・まるまる育児でこんなに違う ～3人の子育て真っ最中の母親・助産師として～

平松 道子先生(京都府、出張専門開業助産師)

第1子妊娠時、切迫早産のため入院治療を受け、自宅でも安静にしていたにもかかわらず下肢浮腫は強度で、産後はさらに悪化。産後1ヶ月頃から臀部痛も感じるようになり、ふとしたことから浮腫も痛みも骨盤が関係していることを知った。

これをきっかけに「骨盤を診られるようになりたい」と骨盤ケアの勉強を開始。信子先生のブログ“魔女のひとりごと”や『骨盤メンテ』を読み、「私の症状の全ては骨盤の緩みからきていた！」と衝撃を受けた。第2子妊娠中はSNSや本を頼りに骨盤ケアに励み、産前休暇に入るまで働くことができた。見よう見まねでおひなまきもし、第1子との妊娠経過、育児の違いを実感した。

その後、トコ企画やトコ・カイロプラクティック学院のセミナーを受講し、産婦に試みた骨盤ケアの効果に驚嘆の日々を送る中、第3子を妊娠。初期から骨盤ケアに取り組み、快適な妊娠生活を過ごし、初めて3kg越えの児を出産できた。おひなまき・まるまる育児で育児に余裕ができただけでなく、我が子3人の体格・免疫力・定頸・体の使い方の違いの大きさを目の当たりにし、今後の私の人生を考えさせられた。

「骨盤ケア・まるまる育児・子どもの発達の教室を開いて、自分自身の経験や学びを多くの人達に伝えたい。1人1人に丁寧にかかわりたい」。そんな思いから出張専門助産師として開業届けを提出しもうすぐ1年。1人でも多くの母子が笑顔で暮らせるようにと、今日も歩き回る私である。

